

(別紙)

令和7年12月16日

只見町議会議長 佐藤 孝義 様

広報広聴常任委員会  
委員長 菅家 忠

### 只見町議会報告会報告書

只見町議会基本条例に基づき実施した議会報告会について、下記のとおり報告します。

#### 記

##### 1. 開催日時及び場所

令和7年11月30日（日）

午前 9時30分～午前11時00分 只見公民館（22名）

午後 1時00分～午後 2時30分 朝日公民館（6名）

午後 3時30分～午後 5時00分 明和公民館（26名）

##### 2. 出席議員 佐藤孝義議長、中野大徳副議長、酒井右一議員、山岸国夫議員、 鈴木好行議員、小沼信孝議員、矢沢明伸議員、目黒道人議員 菅家忠議員、齋藤猛議員、平山真恵美議員、角田誠議員

##### 3. 総括

11月30日（日）、3地区公民館で実施した。議会から、「議会の定数と報酬」のテーマを掲げ、多くの意見や提案を広聴することができた。各地区の意見を受け「今後も特別委員会で協議し、今年度中に結論を出したい」と委員長の発言があった。

その他の意見については、各当該委員会に割り当て、協議する。なお、配布資料、町民からの意見は以下のとおり。

- (1) 本会議における議決報告／令和7年4月から令和7年11月会議迄
- (2) 各常任委員会の活動報告／3常任委員会
- (3) 特別委員会の活動報告／決算特別委員会
- (4) 町民からの意見（3地区の参加人数54名）

## 町民意見

### ●只見会場

#### 【議会の定数と報酬について】

- ・「選挙により目的を明確にした議員を選びたい」との気持ちから議員定数は8名程度が良い。忙しくなった分議員報酬を上げてはどうか。
- ・議員を目指す人が増えるくらいに議員報酬を上げたらどうか。
- ・今、議員定数を議論するのは何故か。議員は町民の声を幅広く反映させるために減らすべきではない。
- ・町民288人当たりに議員一人の割合だ。近隣他町村と比べても議員数が多い。他町村と比較すると10名程度が適当だ。
- ・通年議会の実施に伴い、議員の拘束日数が増えているが、報酬の議論がされていない。協議すべき。
- ・議員のなり手不足の原因はなにか、協議しているか。
- ・議員の拘束日数を考慮した報酬を。

#### 【その他の意見】

- ・昨年各集落において報告会、座談会をすると言っていたが実施されていない。公約実現の努力は。
- ・公共施設の管理計画のスピードアップを議会からも問い合わせてほしい。
- ・只見川の河川改修の予算付けがされていない。災害時を振り返り、県への要望を積極的に実施してほしい。
- ・叶津に金山町の案内看板が掲げられた。役場や議会はどう考えているか。
- ・「八十里越え」開通へ向けた受け皿体制の強化を。

### ●朝日会場

#### 【議会の定数と報酬について】

- ・議員定数は削減すべき。現状維持の考えが理解できない。
- ・現在の12名にした時は人口が5339人だった。現在の人口を考慮すれば削減すべき。
- ・定数を削減し、現在の議会費を上げることなく報酬を上げてはどうか。
- ・議員は選挙で選ばれるべき。議会は十分な討議のできる人数を確保すべき。両方の側面から議員定数を議論して欲しい。

#### 【その他の意見】

- ・「八十里越え」開通までに「駅前複合施設」は完成するのか。
- ・小学校統合は小中一貫校になるのか。
- ・「湯ら里」は今後どうなるのか。
- ・「湯ら里」が債務超過になっていることを町民は理解しているか。
- ・不適切な補助金の返還命令に、議会としての対応は。
- ・各議員は町づくりをどうするか、競い合って考えてほしい。

## ●明和会場

### 【議会の定数と報酬について】

- ・議員定数は削減しなくてもよいが、女性議員を増やせる体制づくりを。
- ・議員定数の検討は議会基本条例に沿った形で検討すべき。
- ・現在の定数で十分な議会対応ができていたかどうかの検証が先ではないか。その上で議員定数を考えるべき。
- ・議員を目指せる環境が整っていない。環境づくりが大切だ。
- ・定数の量の議論ではなく、議会の質の議論が重要ではないか。

### 【その他の意見】

- ・孤立住宅の解消、融雪災害の陳情に対し、議会としての誠意が見受けられない。集落維持のため、今後も運動は続けていく。
- ・議会としての監視や審議に町民の声が届いていない。各議員が何を目的に議員活動をしているか伝えてほしい。
- ・議会としての公聴機能が欠けているのではないか。
- ・各集落を回り意見を聞くような議会になってほしい。
- ・「湯ら里」の状況はどうなっているか。毎年資金援助することにならないように監視してほしい。
- ・小学校統合により空いてくる校舎建物を芸術大学への無償貸し出しはできないか。誘客や地域おこしにも繋がると思う。
- ・薪ボイラーの稼働はうまくいっているのか、いないのか。
- ・「湯ら里」の資金ショートに対して町民に周知や情報提供はないのか

以上